



2021年10月18日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 55号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. 欧州のチョコレート消費が回復の兆候、同域内でのカカオ磨砕数量が急増 (10/13)

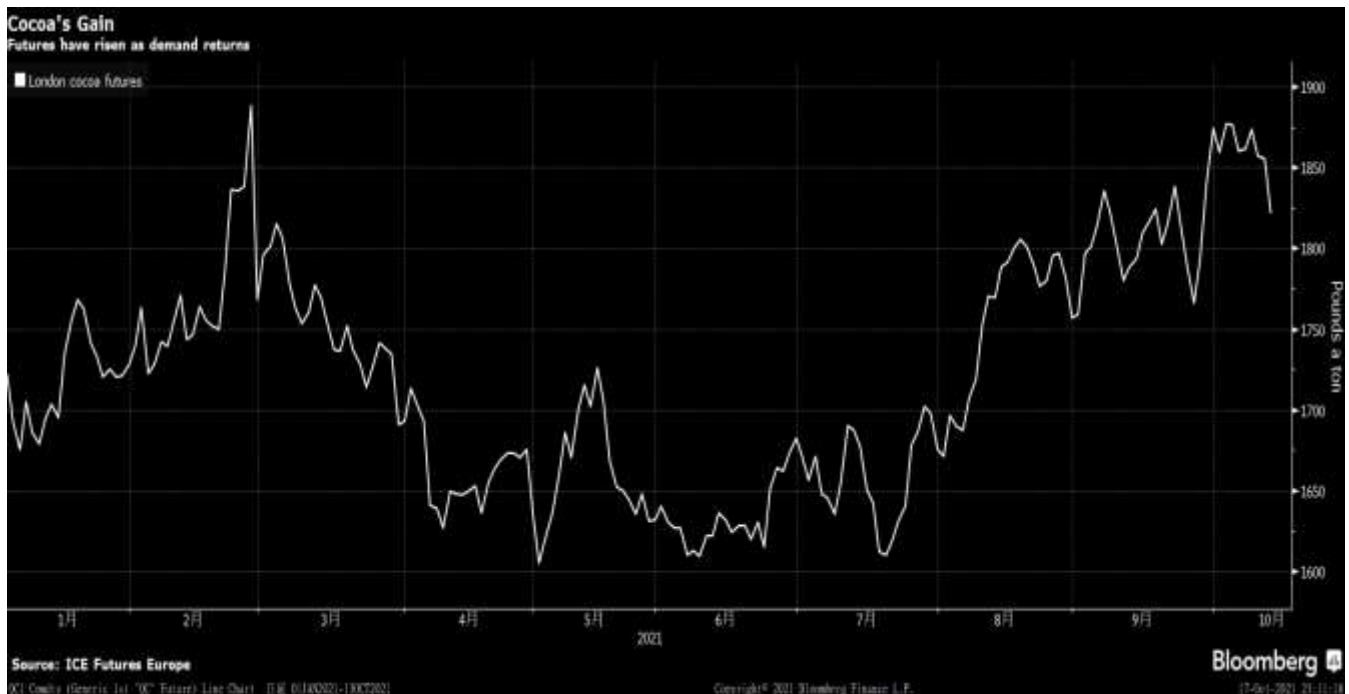
- 第3四半期の欧州のカカオ磨砕数量は10年ぶりの高水準に
- 需要は回復しているが、それに追加して、サプライチェーンの問題がカカオの在庫備蓄に拍車をかけている可能性もあり

ヨーロッパでは、チョコレートに対する需要が再び高まっており、パンデミック後の需要の回復に伴い、同地域のカカオ磨砕数量が過去10年間で最高となりました。

欧州ココア協会が水曜日に発表したところによると、世界最大の消費地である欧州域内でのカカオ豆磨砕数量は、7-9月までの第3四半期の3ヶ月間で375,811トンとなり、前年同期比で8.7%の増加となった。これは、2011年以降のどの四半期においても最も多い数量となった。欧州域内で最大の消費国であり加工国であるドイツは、第3四半期の磨砕数量は前年同期比16%増の10万8,615トンとなった。この数字は、発表前の大方の予想を上回りました。これは、第3四半期の世界の主要な大陸の磨砕数量の統計発表では最初のものであり、今週、アジア、北米の数字も発表されますが、欧州の数字の増加の背景は、旅行の増加に伴う衝動買いや免税店での販売により、チョコレートの消費量が増加していることを示しています。

ブルームバーグの調査によると、カカオの先物価格は今月初めにロンドンで7ヶ月ぶりの高値を記録し、北米とアジアでも昨年同期比ではかなりの増加が見込まれています。マレックス社によると、世界の産業界におけるサプライチェーンの問題を懸念して、バイヤーが備蓄を増やしている可能性もあるとのこと。

ロンドンにあるMarex社の農業投資部門の副責任者であるジョナサン・パークマン氏は、「非常に良い、非常に強い数字だ」と述べています。「輸送や貨物の問題があまりにも多いため、人々はより多くの在庫が必要であることに気づき、サプライチェーンのパイプラインの肥大化が進んでいます」。



チョコレート需要の増加は、過去1年間に蓄積された西アフリカのカカオ豆の供給過剰を吸収するための鍵となります。特に、西アフリカの大規模生産国であるコートジボアールとガーナは再び歴史的な大豊作になるとも予測されています。上記のような背景を受けて、ロンドンのカカオ先物価格は今週 01,845 ポンド(2,530 ドル)となりました。

2. アジア域内の第3四半期カカオ豆磨砕数量は前年対比4.1%増加(10/15)

アジアのココア協会が発表した数字によると、アジアのカカオ豆の第3四半期の磨砕数量は、210,970 トンで、前年同期の202,665 トンと比較して4.1%の増加となったと発表された。

この数字は、220,865 トンだった2021年の第2四半期の数量からは4.5%減少している。

同協会は、「今期の磨砕数量は、需要の要因もさることながら、大きな要因として現在大きな問題となっている世界のコンテナ船の不足からくる混乱している物流の問題を反映している」と説明した。

カカオ豆をカカオマス、またココアバターやパウダーに加工した数量を表すカカオ豆の磨砕数量は、カカオの需要を表す指標として業界で広く一般的に用いられています。

アジアココア協会は、アジアの磨砕数量として、マレーシア、シンガポールとインドネシアで事業を行っている協会会員から提出された磨砕データを毎四半期毎に集計して発表しています。

3. マレーシア国内のカカオ豆磨砕数量は前年対比で3.4%の増加(10/14)

マレーシア・ココア・ボードの発表によると、マレーシア国内での第3四半期のカカオ豆磨砕数量は、前年同期の76,491 トンから3.4%増加し79,120 トンとなりました。

また、第3四半期の磨砕量は、2021年の第2四半期の87,331 トンと比較すると9.4%減少し、2021年の1月～9月の合計では前年同期比9.5%増の25万438 トンとなった(2020年1-9月の合計は22万8748 トン)

4. 北米第3四半期カカオ磨砕数量の概要 (10/15)

全米製菓協会が発表したカカオ豆磨砕数量のレポートの概要は以下の通りです。

- 全米のカカオ豆の磨砕数量は、前年同期比 5,135 トン増の 123,399 トン。磨砕数量の報告企業には、Barry Callebaut、Cargill、Hershey、Nestle などが米国にある磨砕業者が含まれます。

	3 四半期	2 四半期	1 四半期	4 四半期	3 四半期
年	2021	2021	2021	2020	2020
カカオ豆磨砕数量	123,399	123,719	117,956	118,043	118,264
前年同期比 (トン)	5,135	12,943	2,365	7,672	-4,944
前年同期比 (%)	4.34%	11.68%	2.05%	6.95%	-4.01%
報告工場数	16	16	17	17	17

出展：全米菓子協会

5. ナイジェリアの 2021-22 年のカカオ生産量は 27 万 5 千トンとの見通し (10/14)

ナイジェリアの国立カカオ協会は 14 日、2021-22 年シーズンのカカオ生産量が 27 万 5,000 トンになるとの見通しを発表しました。

ナイジェリアのカカオ協会会長である Muftau Abolarinwa 氏は、「ナイジェリアでは新シーズンのカカオ生産量を 27 万 5,000 トンと見込んでおり、11 月以降のメインクroppはおそらく豊作になるだろう」と述べました。

この数字は、今月から始まって 1 月か 2 月に終了するメインクroppと 4-6 月のミドルクropp両方の生産数量の予測でありであり、カカオ協会が今シーズの生産量として事前に予測していた 25 万トンを上回りません。前述の Abolarinwa 氏によると、2021-22 年シーズンのメインクroppのスタートは天候不順のため、これまでのところ生産量が少ないとのことですが、11 月から 1 月にかけては収穫量が回復するだろうと述べています。

Oyo 州の州都 Ibadan のトレーダー Jibola Adetoun 氏は、「収穫は多少遅れるかもしれないが、天候はすでに回復しており、南西部および南東部地域の生産見通しを後押ししている」と述べました。

6. ファンド勢の NY カカオ先物は純買い越しポジションを減らす - 6 か月で最大 (10/16)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 4,224 ロット減らし、26,673 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、10 月 12 日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は先週より 384 ロット減少し、58,340 ロットとなった。
- 総売り数量は 3,840 ロット増加し、31,667 ロットとなった。

7. NY市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析 (10/16)

COCOA - ICE FUTURES U.S. (CONTRACTS OF 10 METRIC TONS)

CFTC Code: #073732

Open Interest: 255,227 Total Changes: +3,451 Total Traders: 227

AS OF: 2021-10-12

[View Historical Data](#)

	Long			Short			Spread		
	Positions	Open Int	# Traders	Positions	Open Int	# Traders	Positions	Open Int	# Traders
Producer/Merchant/ Processor/User	93,701 -740	36.7%	36	137,938 -4,093	54.0%	36			
Swap Dealers	10,053 +453	3.9%	13	11,115 +744	4.4%	7	11,364 -1,387	4.5%	13
Managed Money	57,906 -481	22.7%	57	31,579 +3,980	12.4%	40	28,719 +2,421	11.3%	42
Other Reportables	20,640 -190	8.1%	34	6,746 -875	2.6%	22	19,673 +2,487	7.7%	28
Nonreportable Positions	13,171 +888	5.2%		8,093 +114	3.2%				

実需筋は、売りポジションを減らしている。これは、高値を嫌って、産地側から新規の販売契約が進まなかったことや、今までの売りポジションが値決めされて単純に減少したという可能性が想定される。一方、投機筋の売りポジションが増加しているのは明らかに相場価格が過去1年の値から見て高値水準に入ったことで、売りポジションの新規取引が発生したと見るのが妥当と考える。相変わらずNY相場の方は、ロンドンと比較して短期間での上下運動が激しい相場になっている。ある一定の範囲、おおよそ2580~2630米ドル程度を何回も上下を繰り返す相場になっているため、デイトレードや投機筋向けの相場環境となっていると感じる。

<https://www.tradingster.com/cot/futures>

8. 投機筋、ロンドン先物は純買い越しポジションが更に増加。過去19か月で最大 (10/16)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを2,985ロット増やして、54,291ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、10月12日)の取引が含まれている。

- 純売りポジションの総量は過去19か月で最も強気水準 (買われ過ぎ状態)
- 買いポジションの総量は10月12日までで、前週より3,609ロット増加して58,091ロットとなった。
- 買いポジションの総量は、過去19か月で最も多い数量
- 売りポジションの総量は10月12日までで、前週より624ロット増加して、3,962ロットとなり、前週より増えた。

9. LDN 市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析 (10/16)

Commitments of Traders		Futures only								
ICE Futures Europe										
12/10/2021										
MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money			
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading	
12/10/2021	282578	147330	245950	36790	7561	4021	57892	3962	7076	
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader										
12/10/2021	100%	52.1%	87.0%	13.0%	2.7%	1.4%	20.5%	1.4%	2.5%	

ロンドン市場は引き続き投機筋の買いポジションの強さが目立ち、売りポジションがほとんどないことが特徴。この買いポジションの強さは19か月で最大の強さである為、もちろん更に強気になる可能性がないとは言えないが、通常であればかなり買われすぎの状態と判断できる状況であり、今週は磨砕統計数量が強かったにもかかわらず徐々にじわじわと値を下げていることを鑑みると、ある一定の下げはあると期待したい。ただ、需要の底堅さは確認された為、下落トレンドの深追いは要注意である。ある程度下げたらまた投機筋中心に買いが入る可能性があり、値決めをし損ねないように心がけたい。

10. コートジボアール新物、10/4-10/10 の週間着荷数量は 84,961 トン (10/12)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、84,961 トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は105,960 トンであったのでやや昨年と比較してスロースタートとなった。

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボーのグループ企業である Saco 社や、Olam International の関連企業である Outspan, や Cargill などの企業である。

以下は、10月1日から10月10日までの上位各社の購入量（単位：トン）の表である。

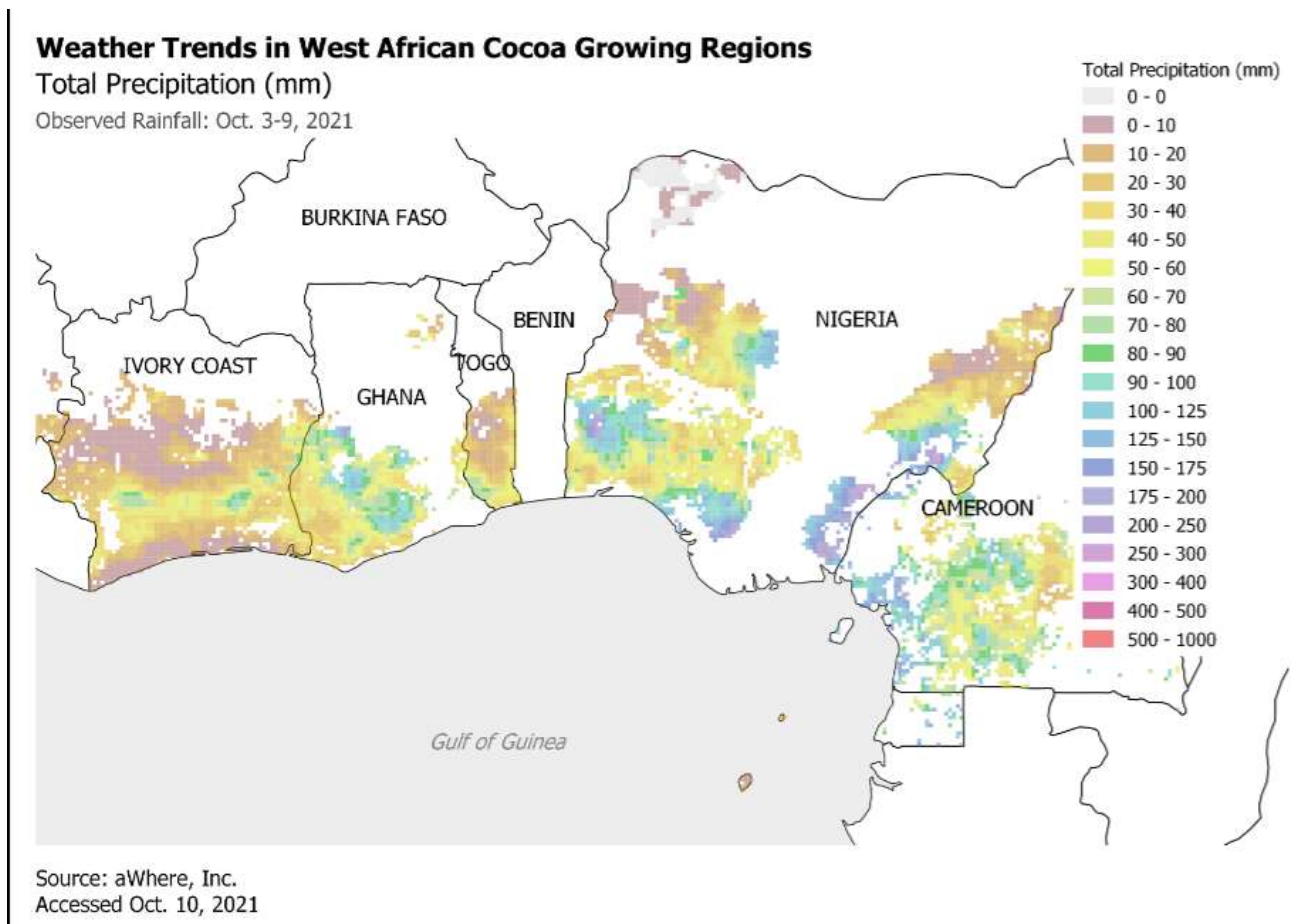
会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	13,194
Saco 社	12,446
アウトスパン(オーラムグループ)	9,994
Touton 社	5,942
S3C 社	5,324
その他企業	38,061
合計	84,961

11. アフリカ UPDATE: コートジボワール、雨天による遅延が発生 (10/11)

コートジボワールの中心部では雨天が続き、道路が損傷しているため、一部の農園へのアクセスが制限されている。

「歩いて行くことはできても、トラックで収穫物を取りに行くのは難しい」と、中部の町 Anian の生産者 Jonas Kouassi さんは説明した。雨が続く中、ブルームバーグが西アフリカの他の地域で調査したところ、生産者達は、現在、カカオ豆を適切に乾燥させることが難しいと感じています。

隣国のガーナでは、カカオの成長とポッドの発達を後押しする雨と日差しの両方があることで、生産者は現状の天候に満足しています。ナイジェリアでも、同様の良い天候バランスが栽培地域に恩恵をもたらしています。



*10月9日までの1週間における西アフリカのカカオ生産地域の降水量。(資料: aWhere)

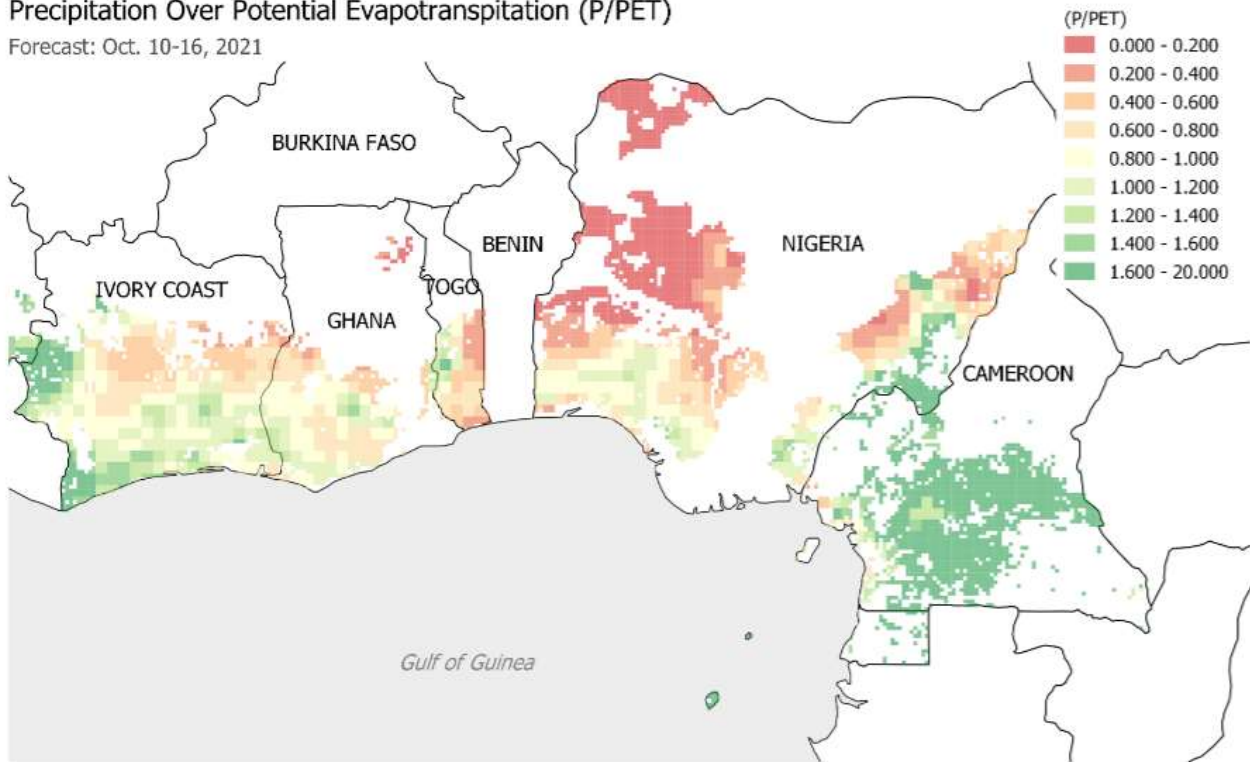
ナイジェリアの5つのカカオ生産州のうち3つの州で農園を営むサンデー・オジェトラ氏によると、南西部では通常の6週間遅れではあるが、ようやく収穫が始まったという。

カメルーンの第2の生産地である中央地域のカカオ生産者は、今週、散発的な雨に見舞われたと、バフィア近郊の Ngoro の生産者は語った。ハイブリッドカカオの苗は、この雨により良い影響を受けていると期待されている。

Weather Trends in West African Cocoa Growing Regions

Precipitation Over Potential Evapotranspiration (P/PET)

Forecast: Oct. 10-16, 2021



Source: aWhere, Inc.
Accessed Oct. 10, 2021

・*10月10日から始まる週のP/PET予報。P/PETとは、その地域の蒸発需要に対する降雨量の割合を示したものです。比率が1を下回ると、その期間に水分が不足することを示し、数値が低いほど作物へのストレスが大きいことを意味します。(aWhere)

12. 沖縄産カカオのチョコを増やしたい OKINAWA CACAO クラウドファンディング開始

カカオ栽培とチョコレート製造の両方を手掛ける株式会社ローカルランドスケープ（本社：沖縄県国頭郡、代表：川合 径）のブランド、OKINAWA CACAOは、新工房建設とカカオ畑の拡大に向けクラウドファンディングを開始した。集めた資金で沖縄県大宜味村田嘉里にある畑を拡大し、来年4月には集落内に工房とカフェをオープンする予定だ。代表の川合径さんは「カカオからチョコレートがどのようにできるのか畑で実際に見て、新工房2階にできるカフェで味わってほしい」と協力を呼び掛けている。



新工房では、少なくともチョコの生産量は現在の5倍に増えることを見込んでおり、県内外への出荷量も徐々に増やしていく予定だ。シークワサーなど、チョコと合わせる地元産の食材の加工にも力を入れるという。

川合さんは「社員やパートも雇い、地域の雇用創出にも貢献したい。安定した量と価格で生産者から原材料を仕入れることで地元生産者の支援にもつなげたい」と意気込んだ。

クラウドファンディングは11月15日まで実施予定だ。目標金額は500万円。3500円から支援でき、返礼品として地元の果物を使った季節のチョコセットなどのほか、来年以降に収穫予定の県産カカオを使ったチョコも数量限定で用意する予定だ。

*説明および写真は下記プレスリリースより

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/845321>

*クラウドファンディングの専用ページは以下

<https://camp-fire.jp/projects/view/477777>

13. 株式会社立花商店 SCAJ2021 出展のご案内

この度、株式会社立花商店はSCAJ2021に出展致します。

日付：2021年11月17日（水）～2021年11月19日（金）

時間：10時～17時

場所：東京ビッグサイト 青海Aホール

展示商品：ウガンダローカカオニブおよびチョコがけ品、カカオパルプ、料理用カカオマス、ベネズエラ（Chua）ココアパウダーなど

参加方法：ご興味のある方は、お手数ですが弊社までお声かけいただけますと幸いです。



衛生面についても万全な体制を整えていく所存です。

実際に商品をお手に取っていただき、ご試食いただくことで楽しんでいただければ幸いです。

それでは、皆様とお会いできることを心よりお待ちしております。

*説明および画像は下記ホームページより

<http://scajconference.jp/>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。